



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平野 信一

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,691	△2.0	159	△63.2	131	△72.8	12	△94.9
24年3月期第2四半期	19,078	0.1	433	△34.9	481	△15.9	249	△1.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,148百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △795百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.27	—
24年3月期第2四半期	5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	46,528	16,491	27.4	271.25
24年3月期	47,660	17,711	29.6	300.08

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,768百万円 24年3月期 14,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	△1.5	700	△23.2	500	△49.6	150	△64.6	3.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動には該当しません^が、Interface Solutions Co., Ltd. の株式を取得(子会社化)したため、当該会社及びその子会社2社を当第2四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	47,171,006 株	24年3月期	47,171,006 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	98,972 株	24年3月期	98,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	47,072,062 株	24年3月期2Q	47,073,261 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ1.(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、欧州政府の債務危機問題や中国をはじめとする新興国の成長鈍化により、厳しい状況で推移しました。国内においては、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復がみられるものの、円高の長期化や世界景気の減速などの影響を受けて、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、インドにおける二輪車用チェーン生産工場の立ち上げ、タイにおける物流システム、搬送設備製造販売会社の子会社化などグローバル展開の推進に努めてまいりましたが、東南アジア、南米における金融引き締め策等による二輪車の販売不振の影響、為替の円高進行等により厳しい受注状況で推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,691百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は159百万円（前年同期比63.2%減）、経常利益は131百万円（前年同期比72.8%減）、四半期純利益は12百万円（前年同期比94.9%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

二輪車用チェーン、リム等においては完成車メーカーの欧米向け機種の販売不振及び生産の海外移管や中南米向け補修市場の不振により低調に推移し前年同期を下回りました。コンベヤ関連においては自動車搬送設備の大型案件の受注があったものの、産業機械用チェーンについては国内設備投資が低調であったことから前年同期を下回りました。四輪車用チェーンは、完成車メーカー向けにおいて採用車種の販売が好調であったことにより前年同期を上回りました。

その結果、売上高は11,754百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

②アジア

二輪車用チェーン、リムについては、東南アジアにおいて欧州債務問題から波及した金融規制強化の影響により完成車の販売が低調だったことで前年同期を下回りますが、四輪車用チェーンについては、タイにおける完成車メーカーの新規採用、中国においての完成車メーカー増産に伴う受注増加もあり前年同期を上回りました。

その結果、売上高は3,741百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

③北米

二輪車用チェーン、リムについては、補修市場向けは前年同期に対し若干増加したものの、完成車メーカー向けはメーカーの在庫調整により前年同期を下回りました。一方、産業機械用チェーンについては依然厳しい状況で推移しておりますが、一部農業機械関連等で回復したことから前年同期を若干上回りました。

その結果、売上高は1,010百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

④南米

コンベヤ関連において二輪車生産設備の大型受注があったものの、産業機械用チェーンについては、世界的景気低迷の影響により低調に推移しました。二輪車用チェーンについては金融規制の強化による完成車の販売不振の影響を受け前年同期を大きく下回りました。

その結果、売上高は1,697百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

⑤欧州

景気低迷、為替の円高の影響により、二輪車用チェーン、リムについて完成車メーカー向け、補修市場向けともに前年同期を下回りました。

その結果、売上高は487百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が134百万円増加、たな卸資産が207百万円増加、繰延税金資産が369百万円増加したものの、投資有価証券が1,738百万円減少したことなどにより1,131百万円減少し、46,528百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が344百万円減少、繰延税金負債が287百万円減少したものの、借入金（短期借入金・長期借入金）が801百万円増加したことなどにより87百万円増加し、30,036百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、その他有価証券評価差額金が1,188百万円減少したことなどにより1,219百万円減少し、16,491百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況の概況は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には2,651百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は718百万円（前年同期は1,327百万円の獲得）となりました。これは主に、退職給付引当金が143百万円減少（前年同期は267百万円減少）、仕入債務が583百万円減少（前年同期は710百万円の増加）したものの、減価償却費を969百万円（前年同期は1,051百万円）計上し、売上債権が385百万円減少（前年同期は176百万円の増加）、たな卸資産が105百万円減少（前年同期は369百万円の増加）したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は684百万円（前年同期は1,095百万円の使用）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出332百万円、有形固定資産の取得による支出537百万円（前年同期は1,279百万円の支出）、定期預金の払戻による収入225百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は255百万円（前年同期は801百万円の使用）となりました。これは主に、借入の返済による支出（純増額）が722百万円（前年同期は400百万円の支出）、配当金の支払額141百万円（前年同期は141百万円の支出）等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結ならびに個別業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の数値を修正をいたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、Interface Solutions Co., Ltd.の株式を取得（子会社化）したため、当該会社及びその子会社2社を当第2四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ、5百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,069	3,204
受取手形及び売掛金	9,080	8,786
商品及び製品	3,141	3,102
仕掛品	2,355	2,773
原材料及び貯蔵品	2,540	2,369
繰延税金資産	284	344
その他	456	496
貸倒引当金	△68	△63
流動資産合計	20,860	21,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,860	5,007
機械装置及び運搬具（純額）	4,256	4,301
土地	2,786	2,809
リース資産（純額）	1,678	1,603
建設仮勘定	487	268
その他（純額）	744	759
有形固定資産合計	14,814	14,749
無形固定資産		
のれん	52	245
ソフトウェア	86	117
その他	21	20
無形固定資産合計	160	383
投資その他の資産		
投資有価証券	11,286	9,548
繰延税金資産	111	421
その他	427	413
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,824	10,381
固定資産合計	26,799	25,515
資産合計	47,660	46,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,878	4,533
短期借入金	7,603	8,465
1年内償還予定の社債	4,500	2,700
未払法人税等	177	68
賞与引当金	372	504
役員賞与引当金	11	—
製品保証引当金	115	105
工事損失引当金	—	9
リース債務	515	451
その他	1,670	1,893
流動負債合計	19,844	18,732
固定負債		
社債	—	1,800
長期借入金	5,194	5,133
リース債務	710	620
繰延税金負債	421	133
退職給付引当金	3,630	3,487
その他	147	130
固定負債合計	10,104	11,304
負債合計	29,949	30,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	6,626	6,497
自己株式	△17	△17
株主資本合計	11,394	11,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,928	2,740
為替換算調整勘定	△1,197	△1,237
その他の包括利益累計額合計	2,730	1,502
少数株主持分	3,585	3,723
純資産合計	17,711	16,491
負債純資産合計	47,660	46,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,078	18,691
売上原価	15,750	15,617
売上総利益	3,327	3,073
販売費及び一般管理費	2,894	2,914
営業利益	433	159
営業外収益		
受取利息	18	8
受取配当金	98	117
為替差益	28	—
持分法による投資利益	50	112
その他	142	65
営業外収益合計	338	304
営業外費用		
支払利息	246	216
為替差損	—	63
その他	43	52
営業外費用合計	290	332
経常利益	481	131
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	5
特別損失合計	3	6
税金等調整前四半期純利益	478	125
法人税、住民税及び事業税	91	53
法人税等調整額	△10	8
法人税等合計	81	62
少数株主損益調整前四半期純利益	397	62
少数株主利益	147	50
四半期純利益	249	12

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	397	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,137	△1,185
為替換算調整勘定	△50	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△6
その他の包括利益合計	△1,193	△1,211
四半期包括利益	△795	△1,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△932	△1,215
少数株主に係る四半期包括利益	136	67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	478	125
減価償却費	1,051	969
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△267	△143
受取利息及び受取配当金	△116	△125
支払利息	246	216
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△176	385
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	105
仕入債務の増減額(△は減少)	710	△583
その他	△82	△11
小計	1,474	937
利息及び配当金の受取額	129	140
利息の支払額	△246	△215
法人税等の還付額	22	26
法人税等の支払額	△53	△169
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,327	718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	225
定期預金の預入による支出	△111	△22
有形固定資産の取得による支出	△1,279	△537
有形固定資産の売却による収入	388	0
投資有価証券の売却による収入	30	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△332
その他	△124	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,095	△684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	116	48
長期借入れによる収入	—	1,733
長期借入金の返済による支出	△517	△1,058
社債の発行による収入	—	1,800
社債の償還による支出	—	△1,800
配当金の支払額	△141	△141
少数株主への配当金の支払額	△89	△77
その他	△169	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△801	255
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△608	337
現金及び現金同等物の期首残高	4,220	2,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,612	2,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,705	3,721	997	2,045	608	19,078	—	19,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,258	226	2	—	0	2,487	(2,487)	—
計	13,964	3,948	999	2,045	608	21,565	(2,487)	19,078
セグメント利益	38	283	36	119	38	516	(82)	433

(注) 1. セグメント利益の調整額△82百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,754	3,741	1,010	1,697	487	18,691	—	18,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,898	200	0	—	1	2,101	(2,101)	—
計	13,653	3,942	1,010	1,697	489	20,792	(2,101)	18,691
セグメント利益又は損 失(△)	41	127	32	△32	12	180	(20)	159

(注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にInterface Solutions Co., Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、201百万円であります。